

2019年12月16日(月)午後2時提供

資料配付

提供先

大阪経済記者クラブ

問  
い  
合  
わ  
せ  
先

(一財) 関西情報センター  
総務企画グループ企画・広報チーム  
担 当 : 田中(照)  
T E L : 06-6809-1093  
F A X : 06-6809-2093

2030年以降の未来社会を見通すための重要キーワード2019(IT系および一般)を選定

～1位は、IT系でHUAWEI、一般であおり運転～

「破壊的イノベーションがもたらすデジタル社会研究会」

(座長:神戸大学大学院教授・塚本昌彦、主催:一般財団法人関西情報センター)

一般財団法人関西情報センター(KIIS/会長 森下俊三)は、最近のIoT、AIに代表されるIT技術の著しい技術革新によるイノベーションが、社会構造、産業構造に大きな変化をもたらすターニングポイントとしてのデジタルトランスフォーメーションが急展開するとの認識から、2030年以降の生活や家庭がどのようになるか、関西大手企業の若手社員を中心に、未来社会のイメージづくりを議論する「破壊的イノベーションがもたらすデジタル社会研究会」(座長に神戸大学大学院教授・塚本昌彦)(以下、デジタル社会研究会)を主催しています。

デジタル社会研究会では、2030年以降の未来社会を見据えるために有効な2019年の重要キーワードを、IT系と一般に分けてそれぞれ30個ずつ選定しました。

IT系では「HUAWEI」、「サウジ油田ドローン攻撃」、「キャッシュレス」を、一般では「あおり運転」、「令和」、「首里城焼失」をそれぞれ1、2、3位として選んでいます。IT系は主としてインパクトのあった新しい技術・サービスが、一般では主として大いに話題になった重大ニュースにかかわるキーワードが選ばれています。これらを現代社会の状況と変化を表す指標ととらえ、今後の社会への影響を考える材料とすることが有効と考えており、各ワードについて選定の理由も併せて公表します。

尚、デジタル社会研究会では、3年間の成果として、2030年以降の未来社会イメージとして、「買い物」「食事・家事」「コミュニケーション・地域活動」「街・住空間」「防犯・安全」「娯楽・スポーツ」「移動・旅行」「健康・医療・介護」などのさまざまなシーンを個別テーマとして想定して未来におけるイメージづくりを検討しており、今回発表の重要キーワード2019(IT系・一般)とともに最終報告書にまとめて公表する予定です。さらに、来年度は本研究会のシンポジウムを開催する予定です。

● 発行資料:重要キーワード2019(IT系および一般)

「破壊的イノベーションがもたらすデジタル社会研究会」紹介資料

● 「破壊的イノベーションがもたらすデジタル社会研究会」事務局

一般財団法人関西情報センター 事業推進グループ (澤田、長尾)

<https://secure.kiis.or.jp/digitalsociety/>

TEL:06-6809-2142 FAX:06-6809-2093 E-mail:rstaff@kiis.or.jp